

令和 6 年 11 月 5 日

東松島市議会議長 小野 恵章様

(会派名) 熟議の会

代表者氏名 阿部 秀太

会派活動実施報告書

東松島市議会政務活動費をもって、下記の会派活動等を実施したので、報告します。

1 会派活動の項目 (該当を○で囲む)

調査研究費、 研修費、 広報費、 広聴費、 要望・陳情活動費、 会議費

2 活動名称： 熟議の会視察研修

3 実施期日： 令和 6 年 10 月 29 日 (火) ~ 30 日 (水)

4 活動成果：

- ① ゆきわり会について、経営の概要と障害を持つ方の受入れ状況、職員育成や地域との連携についての取組みを学んだ。
- ② 佐藤政行種苗について、種苗会社の立場から見た農業振興として、その事例及び行政の関与を中心として、農業問題研究会の活動状況、温暖化への対策について学んだ。

5 添付書類： 視察報告書



青森県青森市「社会福祉法人 ゆきわり会」視察報告書

1. 視察の目的

特に重度の障害を持つ方の受入れ施設が全国的に不足しており、本市においても将来に不安を抱くご家庭が存在する。そこで、首都圏からの利用者を受け入れている「ゆきわり会」を視察し、障害者福祉施策に資する知見を得る。

2. 調査概要

1) ゆきわり会の概要について

○社会福祉事業

障害者支援施設は施設入所支援事業施設1か所、定員50名、生活介護事業施設5か所、定員240名、共同生活援助事業施設2か所、定員272名、短所入所事業施設2か所、定員12名である。その他、認定こども園を1か所運営している。施設については、すべて自前で建設しているとのことである。

法人の職員数は、認定こども園（従業者数36名）含め、511名である。

○公益事業

社会福祉の増進に資する人材育成・確保事業として、福祉就労をめざす学生等に対して、入学金および授業料について、一定の条件下において無利子で貸与している。

○地域における公益的な取組み

地域の高齢者への食事提供、未就学児や保護者への子育て相談・アドバイス、地域住民も参加できる研修、歩道の除雪作業、ねぶた囃子の練習場提供、事業所周辺のゴミ拾いなどを行っている。

2) 重度の障害を持つ方の受入れ状況について

18歳以降の障害を持つ方を受入れている。重度の定義は難しいが軽い方はおらず、家庭や施設で対応しきれない方の入所をも受け入れている。

3) 県外利用者の受入れ状況について

利用者の半数は、県外である。

4) 障害者福祉の課題について

① 利用者の定着

利用者個々人の特性を把握することが大切である。職員の班会議を密に行い、日々把握に努めている。

② 職員の定着

職員が孤独にならないよう、面談し解決に向けている。専門知識を得るよう、2か月に1度のスキルアップのための研修し、職員を適材適所に配置している。

給料面で他に負けないよう待遇し、職員福祉にも配慮し、休みも取りやすくしている。

5) 行政の支援の有無および行政に求めること

特に青森市からの支援はないが協力的で、聞き取りし考えてもらっている。行政へは求めるというよりは在り方として、程よい距離感で伴走することとした。

6) 施設見学

① 生活介護事業所「WAKO」

新青森駅東口正面、令和3年9月開所、定員20名、3階建てで、地域社会との共生をめざす福祉施設の新しい在り方を体現している。3階には運動場があり、利用者の運動不足解消を図っており、浴室は温泉である。全体的に天井が高く、ゆったりとした空間となっている。

② 建設中のホーム（10月31日開所）

定員20名、2階建てで、職員の意見を反映し設計、随所に利用者への配慮がなされている。

7) その他

- ・ 今後については要望がある限り困っている人を受け入れる。
- ・ 青森は土地が安いので、広く使える。

3. 所感

地方では都市部と比べて土地代にかかるコストが安い分、職員の給料を含めた職員福祉や人材育成に経営資源を回しているものと推察した。

また、従業員が500名を超える法人経営であり、雇用面でも地域貢献している事例を確認でき、今後の本市障害者福祉施策への知見を得ることができた。

岩手県矢巾町「(株) 佐藤政行種苗」視察報告書

1. 視察の目的

専業農家や農業従事者数が激減する中、種苗会社の立場からの農業振興について聞き取り調査し、本市の農業振興施策に資する知見を得る。

2. 調査概要

1) 農業振興事例

近年、温暖化に伴い夏季におけるハウス内温度が生育抑制的な温度となり、また全く降雨のない期間が長く続く傾向がある。このことについて、数例の実証試験や普及事例の紹介を受けた中で、特に本市での活用が見込まれる技術を以下にあげる。

- ① 簡易水かけ装置、自動点滴灌水システムが、従前よりもより簡易に低価格で導入可能になっており、本市の露地作ではあまり導入例はないものの、本年は夏の高温で雨が降らない期間が長く作柄が不良であったことから、有用なものと受け取れた。
- ② 夏季パイプハウスの高温対策として、ファンによる外気導入と遮光ネット、熱反射塗布資材の組み合わせで、高温対策試験がなされている。外気導入+熱反射塗布資材及び外気導入+白30%遮光ネットの順で、室内温度降下の効果があり、有用なものと受け取れた。

2) 農業問題研究会の活動について

佐藤政行種苗が事務局となり行政と連携し、30年前から農業経営者への情報提供となるよう、一泊の会費制で行っている。内容は ・野菜、花種子、農業資材の展示会 ・セミナー、分科会 ・講演会 ・情報交換の交流会である。参加者は年々増えているとのことである。本県でも同様の催しはあるものの、種苗会社が事務局となり30年続いている事例はない。

3) その他

近年、固定種・在来種が注目されており、国も遺伝子資源の保存へ施策を展開しているとのことである。会社としても、オーガニックフェスタへ協賛している。

3. 所感

近年の温暖化、特にここ2か年の夏季の異常高温により、作物の生育が安定しないことが大きな課題であるが、今回の視察で普及に至る技術の知見を得た。

農業問題について、民間レベルで30年間真摯に取り組んでいることが、岩手県農業の活力源の一つとして受け取れた。

また、固定種・在来種は「遺伝子群」としての価値は大であるが、それらを多く扱っている種苗会社の姿勢を学ぶとともに、本市農業振興への知見を得ることができた。